〈保証の適用除外〉

保証期間内でも次の場合、点検または取り替えは有料となります。

1．点検の結果、警報器に異常が認められない場合。
2．取扱説明書等の記載事項によらないで使用した場合の故障または損傷。
3．お買い上げ後、器具を調整・分解・改造された場合の故障または損傷。
4．お客様が取り付けた場合であって、取り付け位置が浴室・屋外・高温多湿等著しく不適当な場所、および取り付け基準に定める位置以外の場所で使用した場合。
5．お買い上げ後、取り付け位置の移動、落下等による故障または損傷。
6．建築躯体の変形等器具本体以外に起因する当該器具の不具合、筐体の色あせ等の経年変化、ご使用に伴う磨耗等により生じる外観上の現象。
7．強い腐食性の空気環境に起因する不具合。
8．犬、猫、ねずみ、くも、昆虫等の動物および植物に起因する故障または損傷。
9．火災や落雷、地震、噴火、洪水、津波等の天変地異、または戦争、暴動等の破壊行為による故障または損傷。
10．指定規格以外のガス・電気を使用したことによる故障または損傷。
11．水や煮こぼれ等の液体による故障または損傷。
12．車両、船舶に備品として搭載された場合に生じた故障および損傷。
13．本保証書のご提示がない場合。
14．本保証書にお取り付け日、販売店名の記入がない場合。

〈お客様へ〉

1．お取り付け後５年を過ぎたものは、新しい警報器とお取り替えください。
2．この保証書をお受け取りになるときに、お取り付け年月日、および販売店名が記入してあることを確認してください。
3．本保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。
4．この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではございません。
5．保証期間内のアフターサービス（無料点検等）および安全点検活動のために、お客様の記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承願います。

販売店		扱者

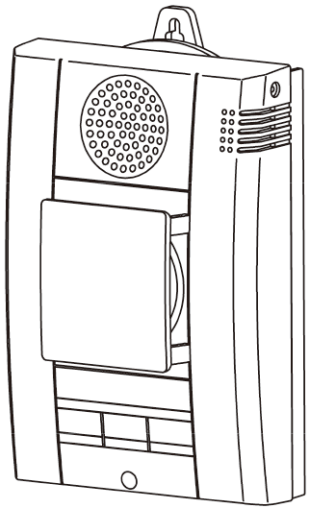
保証履行者
（発売元）
および
保証責任者
（製造元）

富士電機株式会社
住所　〒141－0032　東京都品川区大崎一丁目11番2号
（ゲートシティ大崎イーストタワー）
電話　(03)5435－7111

空気より軽い１２Ａ・１３Ａガス用　　保証書付

品名：ＫＮ－９５
ＪＧＮ１ＫＷＮＡ型

（家庭用）
住宅用火災（煙式）
・ガス・ＣＯ警報器
取 扱 説 明 書



富士電機株式会社
〒141-0032　東京都品川区大崎一丁目11番2号
（ゲートシティ大崎イーストタワー）
電話（03）5435-7111
コールセンター　0120－24－9194

●住宅用火災（煙式）・ガス・ＣＯ警報器（家庭用）をお取り付けいただきありがとうございます。

●お使いになる前に、この取扱説明書を必ず読んで、内容をご理解した上で取り扱ってください。

●本取扱説明書は、取り付け後も保証書とともにお手元に保管し、いつでもごらんいただけるようにしておいてください。

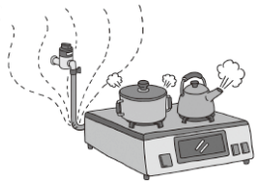
●本書を紛失された場合、内容に不明な点があった場合は、お取り扱いのガス会社までお問い合わせください。

●この取扱説明書では本品を「警報器」、一酸化炭素を「ＣＯ」と表記しています。

TK4L0007a

警報器の機能について

■ガス警報機能・ＣＯ警報機能

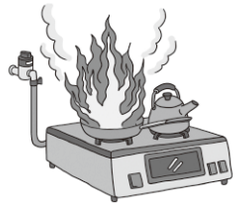


警報器周囲のガスやＣＯが規定濃度以上になると、それを検知して、注意報または警報を発します。

《お断り》

- ガス検知部にガスやＣＯが到達しないときは、警報機能が働きません。
- ガスもれや不完全燃焼によるＣＯの発生を未然に防止する装置ではありません。
- ガスもれやＣＯなどによる損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 取付場所近くでのガスもれやＣＯには警報を発しますが、他の部屋で発生したガスもれやＣＯには警報を発しないことがあります。

■火災警報機能



火災などにより、警報器周囲の煙が規定濃度以上になると、それを感知して、警報を発します。

《お断り》

- 換気扇などにより煙が吸引され、煙感知部の煙が一定濃度以上にならないときは、警報機能が働きません。
- 火災の発生を未然に防止する装置ではありません。
- 火災などによる損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 警報器を取り付けていない部屋は、火災の監視ができません。

もくじ

はじめに

■ 安全上のご注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
■ 対象ガス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
■ 各部のなまえとはたらき・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
■ 警報器のお知らせ機能について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9

警報器が作動したら

■『ウーウーピーピー　火災警報器が作動しました　確認してください』または『ウーウーピーピー　火事です　火事です』と鳴ったときの処置・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
■『ウーウーピーピー　別の火災警報器が作動しました　確認してください』と鳴ったときの処置・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
■ 赤（ガス警報）ランプが点滅、または黄（ＣＯ警報）ランプが点滅したときの処置・・・・・・・・・・・・・・・・・13
■『ウーウーピッピッピッピッ　ガスがもれていませんか』と鳴ったときの処置・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
■『ウーウーピッポッピッポッ　空気が汚れて危険です　窓を開けて換気してください』と鳴ったときの処置・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16
■『ウーウーピッピッピッピッ　ガスがもれていませんか』と『ウーウーピッポッピッポッ　空気が汚れて危険です　窓を開けて換気してください』が交互に鳴ったときの処置・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18
■ 異常がないのに警報音が鳴ったり、ランプが点滅したときの処置・・・・20
■ ランプ表示・警報音出力の事象一覧表・・・・・・・・・・・・・・・・・22

取り扱いかた

■ お手入れのしかた・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・23
■ 噴霧式殺虫剤を使用するときは・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・25
■ 日常点検・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・26

その他

■ 故障かな？と思ったら・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・27
■ 仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・28
■ アフターサービスについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・29

施工される方へ

1．施工される方へのお願いとご注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・・30
2．取り付け前の確認・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・30
3．取り付け方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・33
4．取り付け後の点検・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・37
5．お客さまへの説明について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・41

■安全上のご注意

ご使用前に必ずお読みいただき、お客さまや他の人々への危害や損害を未然に防止するために、必ずお守りください。

注意事項は、誤った取り扱いによる危害や損害の程度を、以下の表示で区分しています。

⚠危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定されることを表しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。

絵表示の内容

- 「必ず行う」事項を示しています。
- 「火気厳禁」事項を示しています。
- 「ぬれ手禁止」事項を示しています。
- 「水ぬれ禁止」事項を示しています。
- 「分解禁止」事項を示しています。
- 「一般的な禁止」事項を示しています。

⚠危険

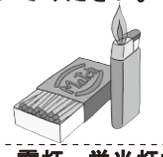
ガス警報音が鳴っている間は、以下の内容を必ず守ってください。
爆発の恐れがあります。

必ず行う

ガス警報音が鳴っている部屋にいるときは、すぐに換気をし、使用中のガス機器を止めてください。

火気厳禁

マッチやライターなど、火気を使わないでください。



禁止

換気扇、電灯、蛍光灯など、電気製品のスイッチを入・切をしないでください。

禁止

電源プラグを抜かないでください。

禁止

部屋の外にいるときは、すぐに入室しないでください。

⚠危険

ＣＯ警報音もしくは火災警報音が鳴ったら、以下の内容を必ず守ってください。
ＣＯ濃度が上昇し、短時間で生命に危険が生じる恐れがあります。また、火災により生命に危険が生じる恐れがあります。

必ず行う

ＣＯ警報音が鳴っている部屋にいるときは、すぐに換気をし、使用中のガス機器を止めてください。

必ず行う

火災警報音が鳴り、消火が不可能なときは、避難してください。

禁止

部屋の外にいるときは、すぐに入室しないでください。

⚠警告

必ず行う

常に電源が入っていること（緑（電源）ランプ点灯）を確認してください。
電源が入っていないと、火災、ガスもれ、ＣＯが発生しても、警報を発しません。

必ず行う

設置後、５年（有効期限）を過ぎた警報器は、新しい警報器とお取り替えください。
誤動作または正常に作動しない恐れがあります。また、５年を超えて長期間ご使用されますと、電源プラグ（予備コンセント含む）がほこりや水分の影響により発煙・発火する恐れがあります。
有効期限は、貼ってある有効期限ラベルに示しています。

必ず行う

噴霧式殺虫剤を使用するときは、以下の内容を必ず守ってください。
（P. 25 ～ P. 26参照）
●警報器をポリ袋などで覆う。
●噴霧が終わったら、換気した後、ポリ袋を取り除く。
誤作動の原因となります。

水ぬれ禁止

警報器や電源プラグ（予備コンセント含む）を水につけたり、水をかけたりしないでください。
感電・ショート・発煙・発火の恐れがあります。

分解禁止

分解や改造はしないでください。
故障の原因となります。

■安全上のご注意

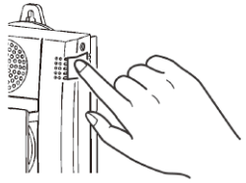
⚠警告

禁止 **衝撃を与えないでください。**
故障の原因となります。

禁止 **警報器をお手入れするとき以外は、電源プラグを抜かないでください。**
火災、ガスもれ、ＣＯが発生しても、警報を発しません。
警報器以外の電気製品を同時に使用するときは、警報器の電源プラグに付属の予備コンセントを使用してください。

禁止 **電源コードにステップルや釘などを打たないでください。**
火災の原因となります。

禁止 **ガス検知部は、絶対にふさがないでください。**
ガスもれ、ＣＯが発生しても、警報を発しません。



禁止 **煙感知式住宅用火災警報器に用いられる点検ガスでフロンガスを主成分とする点検ガスは使用しないでください。**
フロンガスがガスセンサの故障の原因になる場合があります。

電源プラグや予備コンセントを使用するときは、以下の内容を必ず守ってください。
火災・感電・電源プラグ破損の恐れがあります。

必ず行う **電源プラグにほこりが付着している場合は、よく拭いてください。**
火災の原因となります。

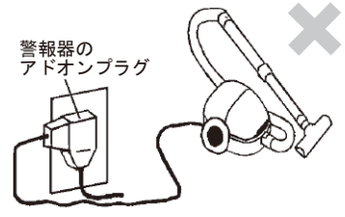
必ず行う **警報器の電源プラグ・予備コンセントに接続する他の電気製品の電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込んでください。**
感電・ショート・発煙・発火や、電源プラグ部分の過熱による焼損の恐れがあります。

必ず行う **予備コンセントには、消費電力が1490W以下の機器を接続してください。**
1490Wを超えると火災の恐れがあります。

必ず行う **予備コンセントに接続する他の電気製品は、必ず電源スイッチを切ってから電源プラグの抜き差しを行ってください。**
感電の恐れがあります。

ぬれ手禁止 **ぬれた手で電源プラグを抜き差ししたり、予備コンセントを触ったりしないでください。**
感電する恐れがあります。

禁止 **警報器の電源プラグに大きな力をかけないでください。**
（例えば掃除機などの移動して使用する電気製品を接続することや、ひん繁に抜き差しすることはおやめください。）



⚠注意

必ず行う **警報器をお手入れするときは、必ず警報器の電源プラグを抜いてください。**
感電やけがの原因となります。

必ず行う **警報器の取り外し・取り付けを行うときや、警報器をポリ袋で覆うときは、安定した踏み台を使い、十分注意してください。**
転落・転倒・落下によるけがの恐れがあります。

禁止 **取付位置を移動させないでください。**
警報の遅れの原因となります。
取付位置を変える必要が生じたときは、お買い求めの販売店またはガス会社にご相談ください。

禁止 **警報器の前に物を置いたり、取り付けたりしないでください。**
警報の遅れの原因となります。

禁止 **警報器の近くでラジオなどを使用しないでください。**
ラジオなどにノイズ（雑音）が入ることがあります。
警報器から距離を離してお使いください。

禁止 **この商品は検定合格品ですが、消防法で定められた自動火災報知設備には該当しませんので、それらの用途には使用できません。**

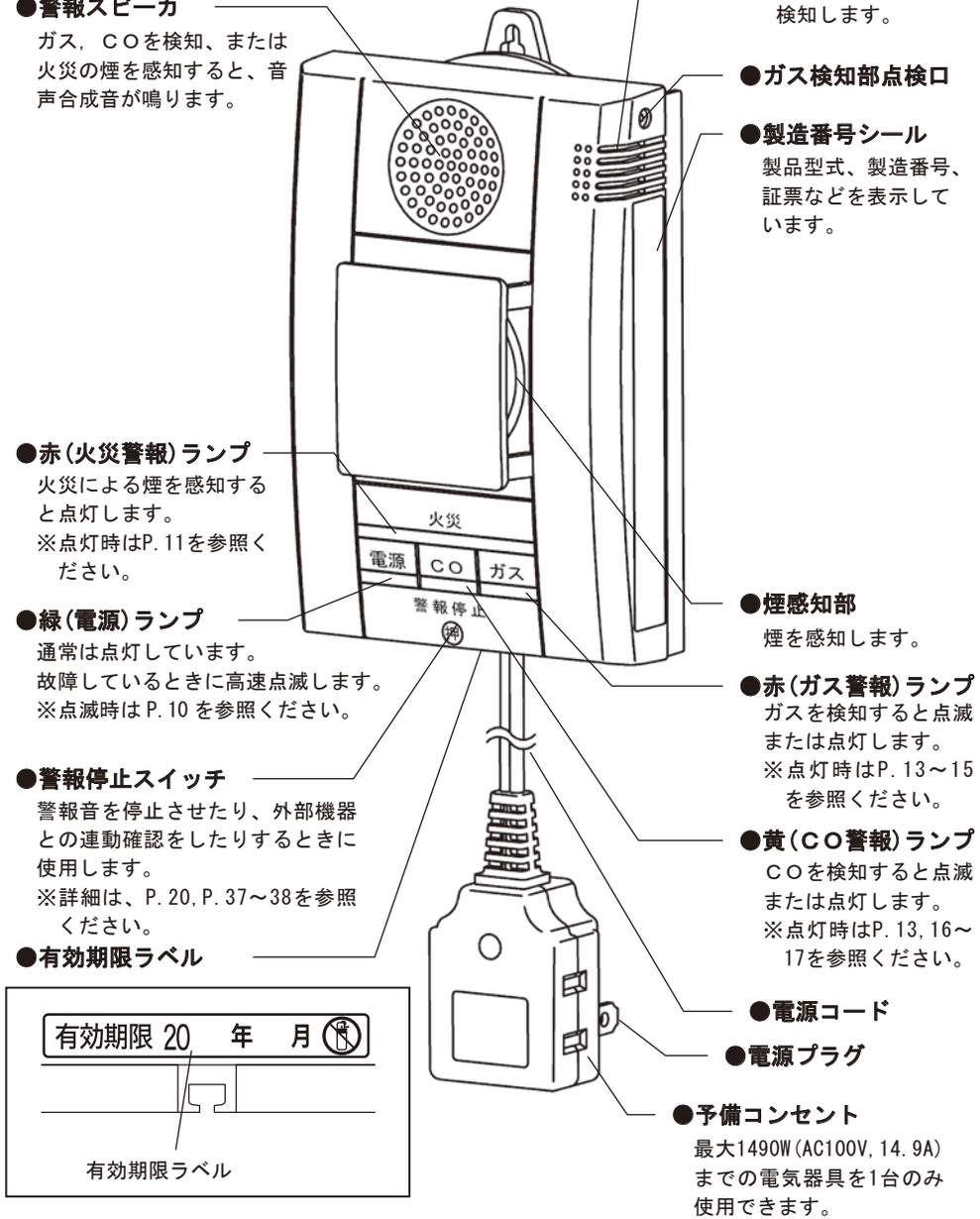
■対象ガス

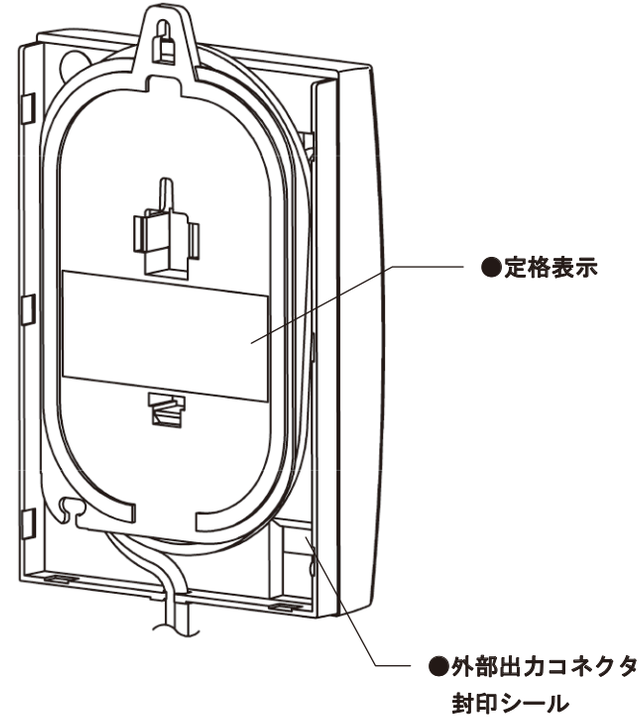
⚠注意

●この警報器は火災（火災等による煙）、都市ガス（空気より軽い１２Ａ・１３Ａガス）および燃焼排ガス中のＣＯを検知します。

●都市ガス（空気より軽い１２Ａ・１３Ａガス）供給区域以外では、お使いにならないでください。

■各部のなまえとはたらき





■ランプのつきかたについて

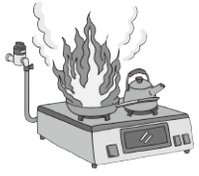
取扱説明書中のランプの点灯、点滅、速い点滅は次のように動作します。

点灯	連続して点灯	
点滅	点灯と消灯の繰り返し（0. 5 秒周期）	点滅周期
高速点滅	点灯と消灯の繰り返し（0. 25 秒周期）	点滅周期

■警報器のお知らせ機能について

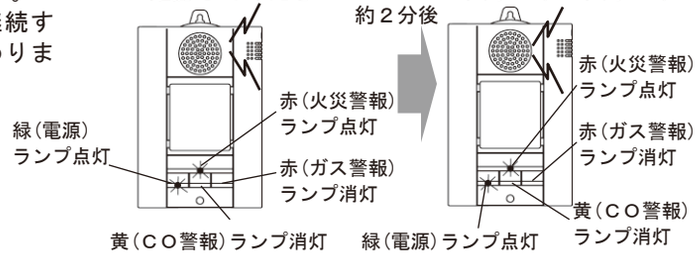
火災による煙が発生したときは

警報器周囲の煙が規定濃度以上になると作動します。
検知開始し約２分間継続するとメッセージが変わります。



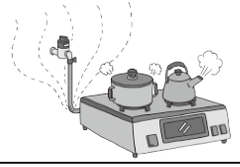
P.11参照

ウーウーピーピー
火災警報器が作動しました
確認してください



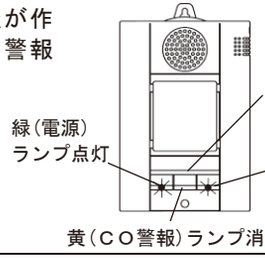
ガスがもれたときは

警報器周囲のガスが規定濃度以上になると作動します。
低濃度のときは注意報が作動し、高濃度になると警報が作動します。



注意報

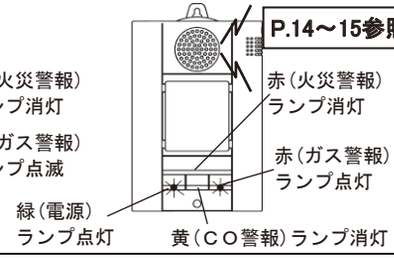
P.13参照



警報

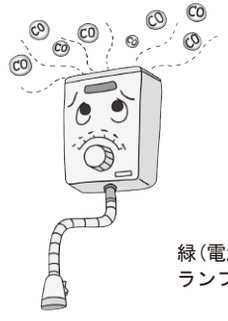
ウーウーピッピッピッピッ
ガスがもれていませんか

P.14～15参照



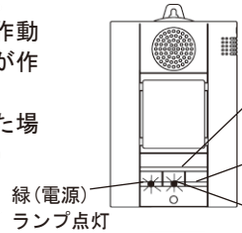
ガス機器の不完全燃焼によるＣＯが発生したときは

警報器周囲のＣＯが規定濃度以上になると作動します。
低濃度のときは注意報が作動し、高濃度になると警報が作動します。
（低濃度が５分間継続した場合も警報が作動します。）



注意報

P.13参照

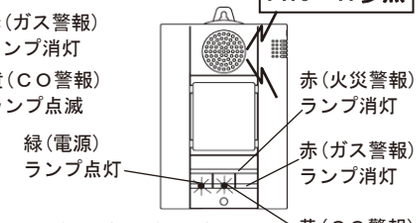


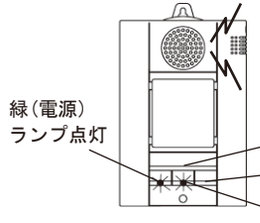
約５分後

警報

ウーウーピッポッピッポッ
空気が汚れて危険です
窓を開けて換気してください

P.16～17参照





ウーウーピッポッピッポッ
空気が汚れて危険です
窓を開けて換気してください

ガスもれとガス機器の不完全燃焼によるＣＯが同時に発生したときは

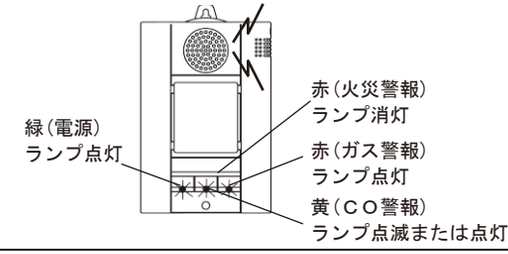
P.18～19参照

警報器周囲のガスとＣＯが規定濃度以上になると作動します。

ウーウー ピッピッピッピッ
ガスがもれていませんか

ウーウー ピッポッピッポッ
空気が汚れて危険です
窓を開けて換気してください

交互に鳴る

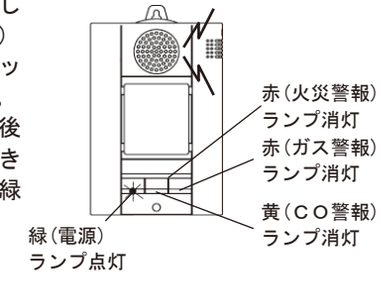


有効期限が過ぎたときは

有効期限を過ぎたときは以下のようにお知らせします。（具体的には有効期限＋半年経過時点から）

- ●警報停止スイッチを約５秒間押すと「ピッピッ　取り付け後５年経過しています」が鳴ります。
- ●電源を再投入すると、６０秒後に「取り付け後５年経過しています」が鳴ります。このとき「正常です」は鳴りませんが、正常動作は緑（電源）ランプ点灯により確認できます。

ピッピッ
取り付け後５年経過しています



※ お買い求めの販売店または最寄りのガス会社までご連絡ください。

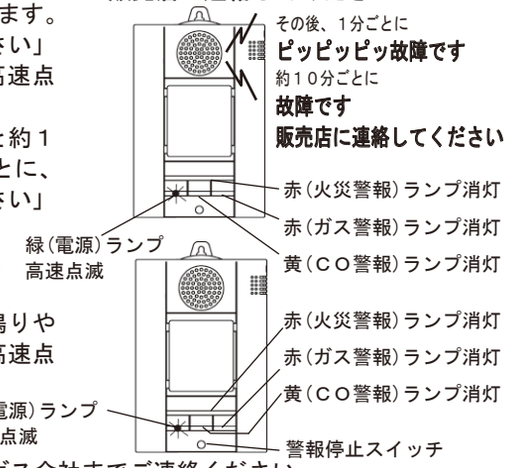
故障しているときは

故障が発生すると、以下のように動作します。

- 「故障です　販売店に連絡してください」が１回鳴り、緑（電源）ランプが高速点滅します。
- その後「ピッピッピッ　故障です」と約１分ごとに繰り返し鳴り、約１０分ごとに、「故障です　販売店に連絡してください」が鳴ります。
- それ以降、同じ警報を繰り返します。

警報停止スイッチを押すと、警報音は鳴りやみます。ただし、緑（電源）ランプの高速点滅は止まりません。

故障です
販売店に連絡してください



※ お買い求めの販売店または最寄りのガス会社までご連絡ください。

■『ウーウーピーピー　火災警報器が作動しました　確認してください』または『ウーウーピーピー　火事です火事です』と鳴ったときの処置【赤（火災警報）ランプ点灯】

『ウーウーピーピー　火災警報器が作動しました　確認してください』の警報音が約２分間継続すると、『ウーウーピーピー　火事です　火事です』と警報音が変わります。

⚠危険

消火が不可能なときは、避難する

必ず行う

《お断わり》

- ●火災以外の煙などで火災警報を発している場合でも、赤（ガス警報）ランプおよび黄（ＣＯ警報）ランプの点灯、点滅の有無を確認してください。
  ※火災警報を発している場合は、音声は火災警報を優先されるため、音声によるガス警報およびＣＯ警報は発しません。
- ●赤（ガス警報）ランプまたは黄（ＣＯ警報）ランプが点灯している場合は、P.14～19の処置を行ってください。

〈火災以外の煙などで火災警報を発しているとき〉

P.20 の処置を行ってください。

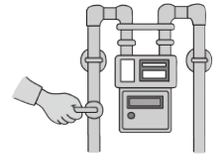
1　火元の確認をする。

2　必要な手段をとる。

１１９番への通報

初期消火

天ぷら油から炎が出ているときは、ガスメーター近くのメーターガス栓を閉めてください。



警報器周囲の煙が規定濃度以下になると、警報音が鳴りやみ、赤（火災警報）ランプが消灯します。

■『ウーウーピーピー　別の火災警報器が作動しました　確認してください』と鳴ったときの処置【赤（火災警報）ランプ点灯】

『ウーウーピーピー別の火災警報器が作動しました確認してください』と警報し、赤（火災警報ランプ）が点灯している場合、連動している別の警報器が火災を感知しています。

⚠危険

消火が不可能なときは、避難する

必ず行う

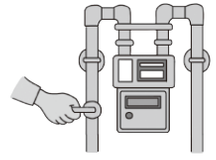
1　別の部屋の火元の確認をする。

2　必要な手段をとる。

１１９番への通報

初期消火

天ぷら油から炎が出ているときは、ガスメーター近くのメーターガス栓を閉めてください。



- ガス警報またはＣＯ警報と同時に別の火災警報が発生したときは、それぞれ交互に警報します。
- 警報停止スイッチを押すと約５分間赤（火災警報）ランプが消灯し、警報が停止します。
  ただし、警報器周囲の煙が規定濃度以上になると、警報停止を解除し即時に火災警報します。また、５分経過しても連動元警報器の周囲の煙が規定濃度以上であれば、再び警報します。
- 連動元警報器の警報を停止すれば、警報は止まり、赤（火災警報）ランプが消灯し、緑（電源）ランプのみの点灯となります。ただし、警報器周囲の煙が規定濃度以上になると、警報停止を解除し即時に火災警報します。

■赤（ガス警報）ランプが点滅、または黄（ＣＯ警報）ランプが点滅したときの処置

赤（ガス警報）ランプが点滅し、警報音が出ていないときは、ガス注意報です。
黄（ＣＯ警報）ランプが点滅し、警報音が出ていないときは、ＣＯ注意報（警報遅延中）です。

《お断わり》
外部機器と連動している場合、ガス注意報、ＣＯ注意報（警報遅延中）では外部機器は連動動作しません。
※黄（ＣＯ警報）ランプの点滅が約５分継続すると、『ウーウーピッポッピッポッ空気が汚れて危険です　窓を開けて換気してください』と鳴り始め、外部機器と連動動作します。

1　ドアや窓を開けて換気する。
しばらく換気を続けると、赤（ガス警報）ランプ、黄（ＣＯ警報）ランプは消灯します。

2　原因を確認する。
ガス濃度やＣＯ濃度がうすい場合に点滅します。
室内の空気の汚れにも反応することがあります。
（P. 20 参照）

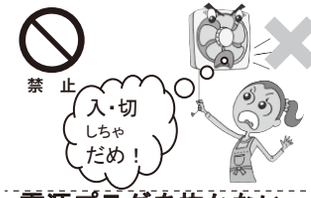
■『ウーウーピッピッピッピッ　ガスがもれていませんか』と鳴ったときの処置【赤（ガス警報）ランプ点灯】

警報音が鳴っているときに部屋にいたとき

⚠危険
警報音が鳴っている間は、以下の内容を必ず守ってください。
爆発の恐れがあります。

マッチやライターなど、火気を使わない。

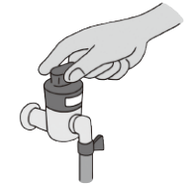
換気扇、電灯、蛍光灯など、電気製品のスイッチを入・切しない。

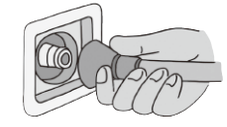


電源プラグを抜かない。

1　ドアや窓を開けて換気する。

2　ガス栓や器具栓を閉める。





ガスコンセント接続の場合、ガスコンセントからソケットをはずしてください。

3　ガスがなくなれば、警報音が鳴り止む。【赤（ガス警報）ランプ消灯】

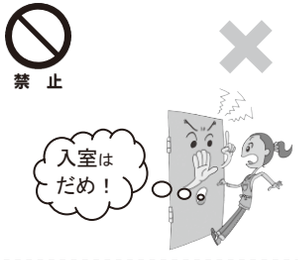
4　ガスもれの原因を点検する。
原因としては、煮こぼれ、ゴム管の外れ、ゴム管の亀裂、ガス機器の立ち消えなどが考えられます。

部屋の外から警報音に気づいたとき

⚠危険

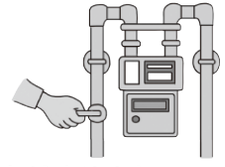
警報音が鳴っている間は、**部屋の外から、すぐに入室しない。**

もれたガスの濃度が濃くなっている場合が考えられます。



1 **部屋に入らない。**
室外からドアや窓を開けられるときは、ドアや窓を開けて換気する。

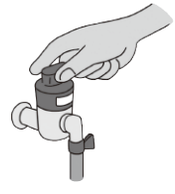
2 **ガスメーター近くのメーターガス栓を閉める。**

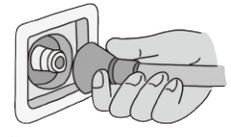


3 **ガスがなくなれば、警報音が鳴り止む。**

4 **部屋に入り、赤（ガス警報）ランプの消灯を確認する。**

5 **ガス栓や器具栓を閉める。**





ガスコンセント接続の場合、ガスコンセントからソケットをはずしてください。

6 **ガスもれの原因を点検する。**
原因としては、煮こぼれ、ゴム管の外れ、ゴム管の亀裂、ガス機器の立ち消えなどが考えられます。

処置をしても、警報音が鳴りやまないとき

〈お願い〉
たびたび警報音が鳴るときは、ガス機器の点検を受けてください。

最寄りのガス会社へ連絡する。

ガス会社

■『ウーウーピッポッピッポッ　空気が汚れて危険です　窓を開けて換気してください』と鳴ったときの処置【黄（ＣＯ警報）ランプ点滅または点灯】

警報音が鳴っているときに部屋にいたとき

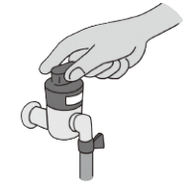
⚠危険

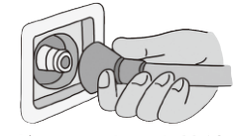
警報音が鳴ったら、**すぐに換気し、使用中のガス機器を止める。**

ＣＯ濃度が上昇し、短時間で生命に危険をおよぼす恐れがあります。

1 **ドアや窓を開けて換気する。**

2 **ガス機器の使用を中止し、ガス栓や器具栓を閉める。**





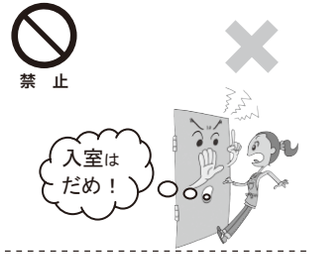
ガスコンセント接続の場合、ガスコンセントからソケットをはずしてください。

3 **ガスがなくなれば、警報音が鳴り止む。**
【黄（ＣＯ警報）ランプ消灯】

部屋の外から警報音に気づいたとき

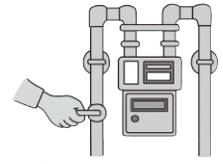
⚠危険

警報音が鳴っている間は、
部屋の外から、
すぐに入室しない。
ＣＯ濃度が濃くなっていることがあり、短時間で生命に危険をおよぼす恐れがあります。



1 **部屋に入らない。**
室外からドアや窓を開けられるときは、ドアや窓を開けて換気する。

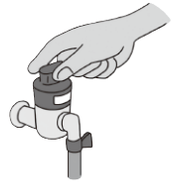
2 **ガスメーター近くのメーターガス栓を閉める。**

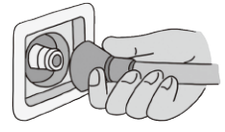


3 **ＣＯがなくなれば、警報音が鳴り止む。**

4 **部屋に入り、黄（ＣＯ警報）ランプの消灯を確認する。**

5 **ガス栓や器具栓を閉める。**





ガスコンセント接続の場合、ガスコンセントからソケットをはずしてください。

処置をしても、警報音が鳴りやまないとき

〈お願い〉
たびたび警報音が鳴るときは、ガス機器の点検を受けてください。
ガス機器以外の燃焼機器（石油ファンヒーター、石油ストーブなど）が原因で鳴ることもありますので、これらの機器についても点検を受けてください。

最寄りのガス会社へ連絡する。

■『ウーウーピッピッピッピッ ガスがもれていませんか』と『ウーウーピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください』が交互に鳴ったときの処置【赤（ガス警報）ランプ点灯、黄（ＣＯ警報）ランプ点滅または点灯】

警報音が鳴っているときに部屋にいたとき

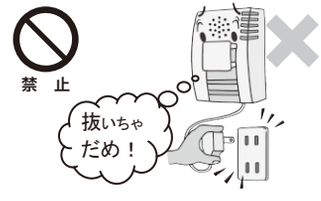
⚠危険

警報音が鳴っている間は、以下の内容を必ず守ってください。
爆発やＣＯ中毒の恐れがあります。

マッチやライターなど、火気を使わない。

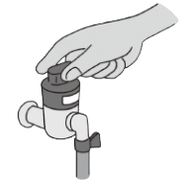
換気扇、電灯、蛍光灯など、電気製品のスイッチを入・切しない。

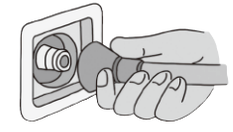
電源プラグを抜かない。



1 **ドアや窓を開けて換気する。**

2 **ガス機器の使用を中止し、ガス栓や器具栓を閉める。**





ガスコンセント接続の場合、ガスコンセントからソケットをはずしてください。

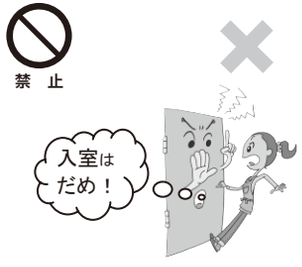
3 **ガスやＣＯがなくなれば、警報音が鳴り止む。**
【赤（ガス警報）ランプ・黄（ＣＯ警報）ランプ消灯】

4 **ガスもれやＣＯ発生の原因を点検する。**
原因としては、煮こぼれ、ゴム管の外れ、ゴム管の亀裂、ガス機器の立ち消えなどが考えられます。

部屋の外から警報音に気づいたとき

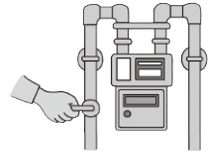
⚠危険

警報音が鳴っている間は、**部屋の外から、すぐに入室しない。**
爆発やＣＯ中毒の恐れがあります。



1 **部屋に入らない。**
室外からドアや窓を開けられるときは、ドアや窓を開けて換気する。

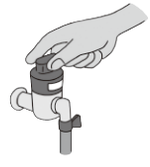
2 **ガスメーター近くのメーターガス栓を閉める。**

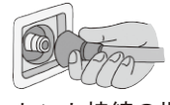


3 **ガスやＣＯがなくなれば、警報音が鳴り止む。**

4 **部屋に入り、赤（ガス警報）ランプ・黄（ＣＯ警報）ランプの消灯を確認する。**

5 **ガス栓や器具栓を閉める。**





ガスコンセント接続の場合、ガスコンセントからソケットをはずしてください。

6 **ガスもれやＣＯ発生の原因を点検する。**
原因としては、煮こぼれ、ゴム管の外れ、ゴム管の亀裂、ガス機器の立ち消えなどが考えられます。

処置をしても、警報音が鳴りやまないとき

〈お願い〉
たびたび警報音が鳴るときは、ガス機器の点検を受けてください。
ガス機器以外の燃焼機器（石油ファンヒーター、石油ストーブなど）が原因で鳴ることもありますので、これらの機器についても点検を受けてください。

最寄りのガス会社へ連絡する。

■異常がないのに警報音が鳴ったり、ランプが点滅したときの処置

ガスやＣＯ以外の空気の汚れで、赤（ガス警報）ランプや黄（ＣＯ警報）ランプが点滅したり、警報音が鳴ったとき

〈警報音を止めたいとき〉
警報停止スイッチを押すと
●ガス警報の警報音は１回だけ５分間止めることができます。
●ＣＯ警報は、黄（ＣＯ警報）ランプが点滅し、ＣＯ警報音が鳴っている場合のみ、警報音を１回だけ５分間止めることができます。
※警報器周囲のガスとＣＯが規定濃度以下になっていない場合、停止時間経過後に再び警報音を発します。
※外部機器と接続していて、かつ警報器周囲のガスとＣＯが規定濃度以下になっていない場合、停止時間経過後に再び連動します。

1 **ドアや窓を開け、しばらく換気を続ける。**

2 **警報器周囲のガスが規定濃度以下になると、ランプの点滅や警報音が止まる。**

火災以外の煙で火災警報音が鳴ったとき

〈火災警報音を止めたいとき〉
警報停止スイッチを押してください。警報音が止まります。
●火災警報音を５分間止めることができます。
※警報器周囲の煙が規定濃度以下になっていない場合、５分後に再び火災警報を発します。５分後に再警報してもスイッチを再度押すことで警報音を止めることができます。
※外部機器と連動している場合、警報停止中は、外部機器の連動は停止します。

1 **ドアや窓を開け、しばらく換気を続ける。**

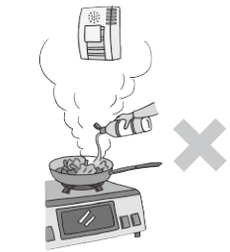
2 **警報器周囲の煙が規定濃度以下になると、ランプの点灯や警報音が止まる。**

警報音が鳴ったり、ランプが点滅した原因について

以下の原因が考えられますので、調べてください。

●長い間閉めきられていた部屋や、高気密住宅などの換気回数が少ない部屋に設置されている場合、ガスセンサの感度に影響を及ぼす室内の滞留成分［シリコーンや溶剤に含まれる揮発性成分、フロンガス（エアコンの冷媒ガスなど）］の作用により警報が鳴りやすくなることがあります。また、まれに鳴り続けることがあります。

●建材等から発生する揮発性成分の作用により警報が鳴りやすくなることがあります。また、まれに鳴り続けることがあります。



〈お願い〉

ガスもれやＣＯ発生ではなく、空気がよごれた場合などに、赤（ガス警報）ランプ・黄（ＣＯ警報）ランプが点滅または点灯したり警報器が鳴ったりする場合がありますが、すぐに鳴りやみますので警報器の電源プラグは抜かないでください。

〈ガス警報・ＣＯ警報〉

●スプレー式の殺虫剤、ヘアスプレーなどが直接警報器にかかった場合。
●濃厚なタバコの煙を警報器にふきかけた場合。
●芳香剤、香油（アロマオイル）等の濃いガスがかかった場合。
●線香の濃い煙がかかった場合。
●溶剤、シンナー、ベンジンなどを大量に使用した場合。
●アルコール類やくん煙式・くん蒸式の殺虫剤が高濃度になった場合。
●フローリングのワックス、溶剤を含む接着剤を使用したとき。
●長期間部屋が閉めきられていた場合。
●焼き魚の煙等がかかった場合。
●みりんや酢などの調味成分を含んだ蒸気が大量にかかった場合。
●可燃性のガスを使用した場合。
●警報器の電源電圧が、通常の電圧範囲外の場合。
通常の電圧範囲はＡＣ１００Ｖ±１０Ｖです。

※以下の場合は、ガスもれやＣＯで警報しており、誤報ではありません。

●給湯器を使用中、換気が十分でないとき。
●ガスコンロの着火ミスがあったとき。
●自動車の排気ガスが室内にこもったとき。
●炭火や練炭（れんたん）を使用したとき。

〈火災警報〉

●調理の煙や湯気が直接警報器にかかった場合。
●砂、ほこり、虫などが、警報器の煙感知部に侵入した場合。
●濃厚なタバコの煙を警報器にふきかけた場合。
●線香の濃い煙がかかった場合。
●くん煙式・くん蒸式の殺虫剤が高濃度になった場合。
●焼き魚の煙等がかかった場合。
●警報器の電源電圧が、通常の電圧範囲外の場合。
通常の電圧範囲はＡＣ１００Ｖ±１０Ｖです。

■ランプ表示・警報音出力の事象一覧

ランプ 緑（電源）	ランプ 黄（ＣＯ警報）	ランプ 赤（ガス警報）	ランプ 赤（火災警報）	音声	表現している事象	対処方法記載ページ
●	○	○	○	なし	通常動作（監視中）	－
●	○	◎	○	なし	ガス注意報	P. 13
●	○	●	○	ガス警報音「ウーウーピッピッピッピッ ガスがもれていませんか」	ガス警報	P. 14, 15
●	◎	○	○	なし	ＣＯ注意報（遅延中※1）	P. 13
●	◎	○	○	ＣＯ警報音「ウーウーピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」	ＣＯ注意報（遅延後※2）	P. 16, 17
●	●	○	○		ＣＯ警報	
●	◎	◎	○	なし	ガス注意報とＣＯ注意報（遅延中※1）	P. 13
●	◎	◎	○	ＣＯ警報音「ウーウーピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」	ＣＯ注意報（遅延後※2）とガス注意報	P. 16, 17
●	●	◎	○		ＣＯ警報とガス注意報	
●	◎	●	○	ガス警報音「ウーウーピッピッピッピッ ガスがもれていませんか」	ガス警報とＣＯ注意報（遅延中※1）	P. 14, 15
●	◎	●	○	ガス警報音「ウーウーピッピッピッピッ ガスがもれていませんか」と ＣＯ警報音「ウーウーピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」を交互に発声	ガス警報とＣＯ注意報（遅延後※2）	P. 18, 19
●	●	●	○		ガス警報とＣＯ警報	
高速点滅	○	○	○	故障警報音※3 「故障です 販売店に連絡してください」（10分ごと） 「ピッピッピッ故障です」（１分ごと）	故障警報（警報器が故障診断機能で故障と判断した状態）	販売店に連絡してください
●	○	○	○	有効期限切れ音声 「ピッピッ取り付け後5年経過しています」 ※警報停止スイッチを押した場合	有効期限切れ（警報器の有効期限が半年以上過ぎた状態）	販売店に連絡してください
●	○	○	●	火災警報音「ウーウーピーピー火災警報器が作動しました確認してください」 2分経過後 「ウーウーピーピー火事です火事です」	火災警報	P. 11
●	○	◎	●		火災警報とガス注意報	
●	○	●	●		火災警報とガス警報	
●	◎	○	●		火災警報とＣＯ注意報（遅延中※1）	
●	◎	○	●		火災警報とＣＯ注意報（遅延後※2）	
●	●	○	●		火災警報とＣＯ警報	
●	◎	◎	●		火災警報・ガス注意報・ＣＯ注意報（遅延中※1）	
●	◎	◎	●		火災警報・ＣＯ注意報（遅延後※2）・ガス注意報	
●	●	◎	●		火災警報・ＣＯ警報・ガス注意報	
●	◎	●	●		火災警報・ガス警報・ＣＯ注意報（遅延中※1）	
●	◎	●	●		火災警報・ガス警報・ＣＯ注意報（遅延後※2）	
●	●	●	●		火災警報・ガス警報・ＣＯ警報	

●：点灯　◎：点滅　○：消灯

※１：ＣＯ注意報成立から約５分以内は、ＣＯ警報音は発報しません（遅延中）。
※２：ＣＯ注意報成立が約５分間継続すると、ＣＯ警報音を発報します。
※３：故障したときは、上記以外の警報音を発する場合があります。
この場合、お求めの販売店または最寄りのガス会社にご連絡ください。

■お手入れのしかた

1．警報器を取り外してください。
（P.23 参照）

2．警報器および取付部付近の壁面の汚れをふき取ってください。

3．お手入れが終わりましたら警報器を取り付けてください。
（P.24 参照）

警報器をお手入れされるときは、下記に注意して行ってください。

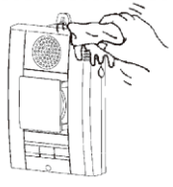
〈お願い〉

必ず行う

お手入れをされる場合は、布を水または石けん水に浸し、よく絞ってからよごれを拭き取ってください。

禁止

お手入れのとき、警報器の内部に水が浸入しないように注意してください。



禁止

警報器のお手入れには、中性洗剤、塩素系漂白剤、ベンジン、シンナーおよびアルコールは使わないでください。
中性洗剤等を使ったときは、警報器本体の表面に傷がついたり、しばらく赤ランプが点滅したり、警報音声が鳴りやまないことがあります。

■警報器の取り外し・取り付け方法

〈取り外し方〉

1．電源プラグをコンセントから抜き取ってください。

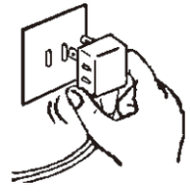
2．電源コードをコード振れ止めから取り外してください。

3．警報器を外してください。
木ネジで固定されている場合は、木ネジをゆるめてから外してください。

⚠注意

必ず行う

警報器の表面および取り付け部付近の壁面が汚れたりしてお手入れをされる場合は、電源プラグをコンセントから抜き取ってください。
警報器の信号が外部機器（インターホン等の集中監視機器）と接続されている場合は、警報器の電源プラグを抜くと、外部機器で警報（故障表示）が鳴る場合があります。



〈取り付け方〉

1．警報器を取り付けてください。
木ネジで固定する場合は、取り付け後木ネジを締め付けて固定してください。

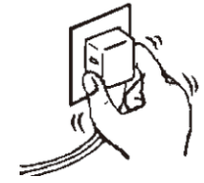
2．電源コードをコード振れ止めに取り付けてください。

3．電源プラグをコンセントに差し込んでください。

⚠注意

必ず行う

電源プラグは、ほこりが付着してないか確認し、隙間のないように根元まで確実に差し込んでください。
ほこりが付着したり接続が不完全な場合は、感電や火災の原因になります。



電源プラグは確実に

〈警報器の動作〉

通電を開始すると

① 緑（電源）ランプが点滅し、警報器が監視を始める準備状態になります。
（約１分間）

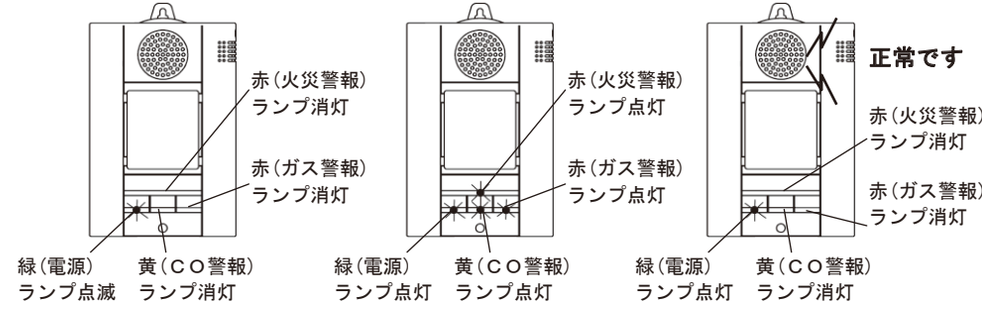
電源に接続してから約１分後

② ランプが全点灯した後、全消灯します。

※ 過去約１０日以内に警報が作動した場合は、最後に作動した警報の原因に伴ったランプが、約１秒間点灯します。
これは、鳴動原因表示機能によるものです。
（P. 40参照）

③「正常です」と発報し、緑（電源）ランプが点灯し、監視状態に入ります。
警報器が故障している場合、または警報器の有効期限切れの場合は、「正常です」とは鳴らずP. 10記載の故障発生時または有効期限切れ時の動作となります。

※ 故障または有効期限切れの場合は、販売店または最寄りのガス会社までご連絡ください。



※緑ランプが点灯になってから、約３分間、約２０秒に１０回瞬時消灯を繰り返しますが、これはCOガス点検お知らせ機能の表示であり、警報器の異常ではありません。

■噴霧式殺虫剤を使用するときは

噴霧式殺虫剤の噴射ガスに反応して警報器が鳴る場合があります。
次の処置を行っていただくと、警報器の鳴り出し防止に効果があります。

警報器を壁面から取り外して安定した場所に置けるとき

〈用意していただくもの〉

・ポリ袋　　ポリプロピレン（ PP　または　＞ＰＰ＜　表示）
※ポリエチレンでも一定の効果があります。
・ヒモ
・粘着テープ

〈処置のしかた〉

1 壁から警報器を取り外し、コード止めから電源コードを外して伸ばしながら、安定する場所に警報器をおいてください。また、このとき、電源プラグは抜かないでください。

2 警報器にポリ袋を１枚かぶせ、ポリ袋内に噴射ガスが入るのを防ぐため、電源コード部分で密閉できるようにひもで縛ってください。ポリ袋の開口部分は、電源コードとの間に隙間ができないように、接着テープを巻いてください。

3 ポリ袋を傷めないよう、安定するところに置いてください。

警報器を壁面から取り外して安定した場所に置けないとき

〈用意していただくもの〉

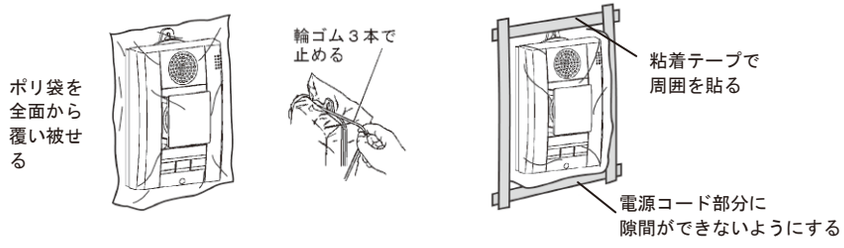
・ポリ袋　　ポリプロピレン（ PP　または　＞ＰＰ＜　表示）
※ポリエチレンでも一定の効果があります。
・輪ゴム　　３本
・粘着テープ（養生テープやメンディングテープなど、接着しやすく、またはがすときに壁面を傷めないテープを選んでください。）

〈処置のしかた〉

1 ポリ袋を輪ゴムで警報器のコード巻き取り部分で止めてください。輪ゴムは１本では弱いので３本程度使用し、しっかりとめてください。

2 ポリ袋と壁の間の隙間から噴射ガスが入るのを防ぐため、ポリ袋の端を接着テープで壁面に貼り付けてください。ただし、壁面等の状況により貼り付けできない場所の場合は、輪ゴムで止めておくだけでも一定の効果はあります。

・ポリ袋と壁面の間に隙間ができないようにテープで貼ってください。特にポリ袋がしわになっている部分や、電源コードが通っている部分を注意してふさいでください。



⚠警告

必ず行う　**噴霧が終わり換気をした後、忘れずにポリ袋を取り除いてください。**

禁止　**電源プラグは抜かないでください。**
警報器の電源を抜いてポリ袋で覆わずに、噴霧式殺虫剤を使用される部屋に噴霧中放置すると、噴霧が終わって電源を入れたときに、センサに吸着した噴霧ガスの影響で、警報器が鳴りだすことがあります。また、警報器の信号が外部機器（インターホンなどの集中監視機器）と接続されていて、警報器の電源プラグを抜いた場合、外部機器で警報（故障表示）が鳴ることがあります。

⚠注意

警報器の壁面からの取り外し、取り付け、あるいは、壁面の警報器へのポリ袋の取り付け、取り外しは、高いところでの作業となります。しっかりした踏み台などをお使いの上、転落、転倒、落下に十分注意して行ってください。

壁掛け型警報器は、強く引っ張ると取り付けている木ねじ、ピンが抜けたり、警報器が外れたり、警報器の引っ掛け穴が破損するなどして、警報器が落下する恐れがあります。

〈お願い〉

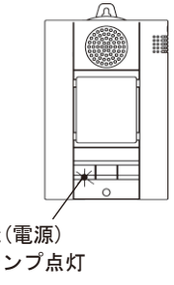
●警報器への影響を少なくするため、部屋の広さに応じた容量の噴霧式殺虫剤をご使用ください。また、警報器の真下での噴霧は避けてください。

●ポリ袋で覆っても、次のような場合は警報器が鳴る場合があります。念のため、事前に住宅管理者やご近所の方に殺虫剤の使用をご連絡しておいてください。
⑴ポリ袋と壁面の間に隙間がある場合。また、ポリ袋に破れや穴がある場合。
⑵部屋の広さに対して極端に大きな容量の噴霧式殺虫剤を使用された場合。
⑶警報器をポリ袋で覆う前に石油系溶剤、アルコール類などを使用されていた場合。
（ガス検知部に影響を与える成分が封じ込められるため）
⑷経年変化によりガス検知部が敏感になっている場合。

■日常点検

● 日常、緑（電源）ランプが点灯していることを確認してください。
本機は故障診断回路が働いており、電気的に正常稼動を確認した場合に緑（電源）ランプが点灯する仕組みになっております。

※緑（電源）ランプが消灯もしくは高速点滅している場合は、警報器の故障が考えられますので、お買い求めの販売店または最寄りのガス会社まで連絡してください。
（P.27「故障かな?と思ったら」を参照ください。）



■故障かな？と思ったら

状態	確認ポイント	処置
●緑（電源）ランプが消灯している。 ●警報器が正常であるにもかかわらず、外部機器が鳴る。	電源プラグが抜けていないか。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	電源ブレーカが切れていないか。	ブレーカを入れてください。
	停電していないか。	停電でなければ、警報器の故障が考えられるため、販売店に連絡してください。
警報器が温かい。	ー	通電によりセンサ部を加熱しているためで、異常ではありません。
緑（電源）ランプが高速点滅している。	警報器の故障を知らせている。	販売店に連絡してください。
火災、ガスもれ、ＣＯの発生がないのに、赤ランプや黄ランプが点滅・点灯したり、警報音が鳴る。	原因を調べる。 （P.21 参照）	ドアや窓を開け、しばらく換気をしてください。ランプの点滅・点灯や警報音が止まります。 鳴り止まない場合は、販売店に連絡してください。
	ガス機器の異常の可能性	ガス機器の点検を受けてください。
	ガス機器以外の燃焼機器の異常の可能性	それらの機器の点検を受けてください。
電源を入れたときに、赤ランプや黄ランプが１秒間点灯する。	10 日以内に警報を発していないか。	鳴動原因表示機能によるもので、故障ではありません。 (P.40 参照)
電源を入れたときや、警報停止スイッチを５秒以上押したときに「ピッピッ取り付け後５年経過しています」と鳴る。	警報器の有効期限ラベルに記載の有効期限が切れている。	有効期限が切れていれば、販売店に連絡してください。 (P.10 参照)

■仕様

項目		仕様			
火災警報機能	種別	光電式住宅用防災警報器			
	型式番号	住警第２６～１１５号			
	検知原理	煙感知方式（光電式）			
	感知性能	２種			
	火災連動入出力※	相互鳴動用火災連動入出力　有極性　自動復帰式 監視時入力(DC30V 以下)　警報時出力(DC1.2V 以下、100mA)			
ガス警報機能・ＣＯ警報機能	検知対象ガス	都市ガス (空気より軽い 12A･13A ガス用)		燃焼排ガス中のＣＯ	
	警報ガス濃度	ガス 注意報	爆発下限界濃度＊ の約 1/100	ＣＯ 注意報	ＣＯ濃度 50～300ppm
		ガス 警報	爆発下限界濃度 の 1/4 以下	ＣＯ 警報	ＣＯ濃度 550ppm 以下
	検知方式	半導体式			
	警報方式	ガス 注意報	赤ランプ点滅 （自動復帰式）	ＣＯ 注意報	黄ランプ点滅 約５分後 危険と判断し、 音声合成音 （自動復帰式）
		ガス 警報	赤ランプ点灯 音声合成音 （自動復帰式）	ＣＯ 警報	黄ランプ点灯 音声合成音 （自動復帰式）
	応答時間	60 秒以内		ＣＯ注意報　10 分以内 ＣＯ警報　　5 分以内	
	外部出力信号※	監視時　DC6V、電源 OFF 時・故障診断時　0V			
		警報時　DC12V		警報時　DC18V	
共通仕様	警報音量	70dB/m			
	電源	AC100V　50/60Hz			
	消費電力	監視時　約 0.5W　警報時　約 1.2W			
	使用温度範囲	０℃～＋４０℃（結露しないこと）			
	寸法・質量	幅 85×高さ 125×奥行き 41mm（突起部を除く）、約 280ｇ			
	電源コード	長さ　2.5m(約 2.2m はケース背面に巻き取り可能) 予備コンセント付プラグ （予備コンセントに接続できる電気製品は 1490W 以下）			
	付属品	コード振れ止め　３ヶ、木ネジ（呼び3.1×16mm）２本、 木ネジ（呼び3.1×10mm）３本、取付フック（ピン付き）　１ケ、 取扱説明書(保証書付)　１部、接続用リード線　１ケ			

＊爆発は空気とガスの混合割合が一定範囲で起こる可能性があります。その範囲を爆発限界濃度といって、最高濃度を爆発上限界濃度、最低濃度を爆発下限界濃度といいます。

※マイコンメーターと接続して使用する場合は、別売りの警報器アダプターが必要になります。

■アフターサービスについて

お願い

- この警報器は、ご使用開始後５年間の無償保証付です。
  この取扱説明書に書かれている内容を守っていただいた上で警報器が正しく動作しないことが判明した場合には、無償でお取り替えいたします。
  ただし、保証書裏面記載の保証の適用除外に該当する場合はこの限りではありません。
- この警報器の有効期限はお取り付けの５年後です。
  有効期限とは警報器の性能を保証できる期間であり、５年を経過したものは、規定の警報ガス濃度で警報しないなど誤作動の恐れがあるので、新しい警報器とお取り替えください。
- 保証書に取り付け年月日および販売店名の記入のないものは無効になることがありますので、お取り付け時にご確認ください。
- 保証書は大切に保管してください。
- アフターサービスについて、ご不明の点がありましたら、販売店または最寄りのガス会社までご連絡ください。
- 警報器の有効期限が過ぎたときは、販売店または最寄りのガス会社までご連絡ください。
- 作動点検をご希望の場合は、有償にて点検いたします。
- 引越しやお部屋の模様替えなどで警報器を移動される場合は、販売店または最寄りのガス会社までご連絡ください。

１．施工される方へのお願いとご注意

⚠注意

- 警報器には、落下等の強い衝撃を与えないように、取り扱いには注意してください。

⚠警告

- お客さまに、この警報器を安全に正しくご使用いただくために、取扱説明書をよくお読みになり、指定された工事を行ってください。 ❗必ず行う
- お客さまへ引き渡す前に、必ずお客さま立会いのもとで本書記載の各種点検を実施してください。（P. 37～P. 41参照）
  万一、作動不良があった場合は交換してください。 ❗必ず行う
  外部機器と接続する場合は、外部機器の取扱説明書、設置工事説明書に基づいて作動点検をしてください。
- 取り付け、点検が終わってから、「警報器の説明」「警報時にとるべき処置」についてお客さまに説明してください。（P. 41参照） ❗必ず行う

お願い

- 有効期限を経過して交換した警報器の廃棄処理について
  ・一般廃棄物として処理しないで、産業廃棄物として処理してください。
  ・本品には一般廃棄物として焼却処理した場合有害ガスが発生する恐れのある材料が含まれています。決められた処理ルートがある場合は、それに従ってください。

２．取り付け前の確認

２－１．警報器の確認

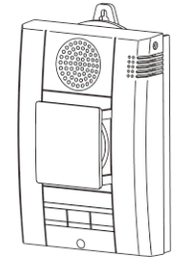
⚠注意

- 取り付ける警報器が、空気より軽い１２Ａ・１３Ａガス用（煙式火災感知・ＣＯ警報機能付）であり、本体に異常のないことを確認してください。 ❗必ず行う

２－２．梱包部品の確認

梱包部品の種類と個数を確認してください。

●本体：１個



●取付フック：1個
（ピン：３本付）

●コード振れ止め：３個

●木ネジ：16㎜×２本、10㎜×３本

●接続用リード線：１本

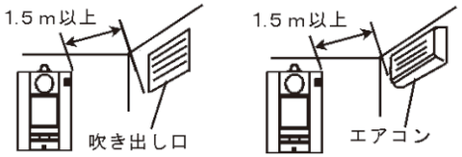
●取扱説明書（保証書付）：１冊

２－３．取り付け位置の確認

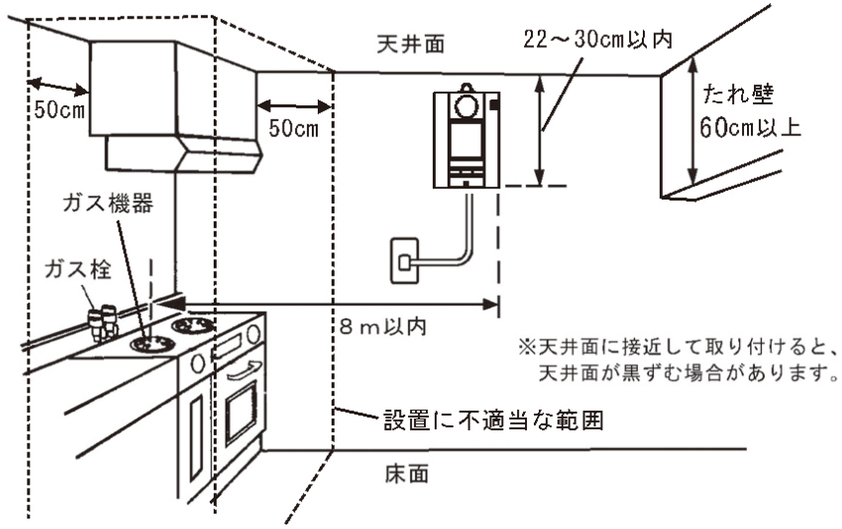
- 警報器を設置する前に、警報器の種類、型式等が指定を受けたものであることを確認するとともに、設置場所の選定についてはお客さまとよく相談して決めてください。
- 取り付け位置を決めるときは、次のことをよく確認してください。

⚠注意

- ガス、ＣＯを検知しようとするガス機器等を設置している場所と同一の室内に設置してください。 ❗必ず行う
- もれたガスやＣＯが滞留しやすい位置で、緑（電源）ランプが確認しやすく、容易に点検できる位置にお取り付けください。 ❗必ず行う
- ガス、ＣＯを検知しようとするガス機器（一定位置に固定しないで使用するガス機器の場合は、ガス栓）から、水平距離で８ｍ以内、警報器の底面から天井面までの距離が２２～３０ｃｍ以内になるように取り付けてください。 ❗必ず行う
- アルコール等で警報することがあるので、レンジフード内やレンジフード本体には取り付けないでください。 🚫禁止
- 換気口等の空気の吹き出し口から1.5m以内には取り付けないでください。 🚫禁止



取付例



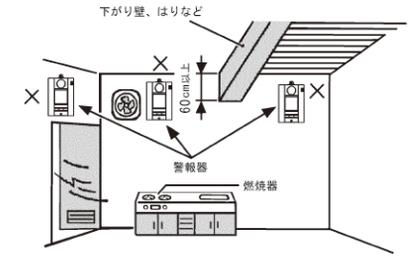
※取り付けおよび取り付け位置の移動は、販売店または最寄りのガス会社におまかせください。

⚠注意

警報器を以下の場所には絶対に取り付けないでください。
次のような取り付け方は、警報遅れや誤報、故障などの原因になります。

- ●換気扇、吸気口、ドア付近など風通しのよいところ、すき間風の入るところ
- ●６０ｃｍ以上の下がり壁で区切られているところ
- ●エアコン等の吹き出し口の近く

🚫禁止　警報が遅れたり、検知できないことがあります。

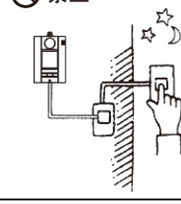


- ●燃焼器具などの排気、湯気、油煙など、または調理用アルコールが直接かかるところ　🚫禁止

センサ寿命の低下や誤報の原因になります。

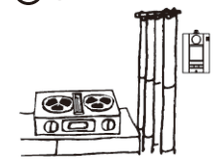
- ●使用時しか電源を入れないところ（ビルなどの給湯室で夜間電源を切るところ）　🚫禁止

警報器としての機能を果たしません。



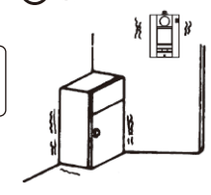
- ●カーテン等で仕切られているところ　🚫禁止

警報が遅れます。



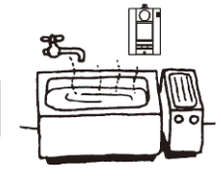
- ●振動、衝撃の激しいところ　🚫禁止

センサ故障の原因になります。



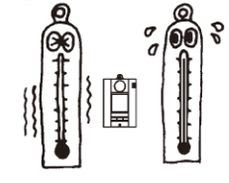
- ●浴室内や水のかかる場所や水滴のつくところ　🚫禁止

感電や電気的故障の原因になります。



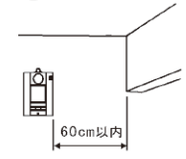
- ●温度が０℃～＋４０℃の範囲をこえるところ　🚫禁止

警報器としての機能を果たしません。
誤作動の原因になります。



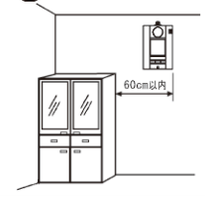
- ●たれ壁やはりの近く　🚫禁止

６０ｃｍ以上離してください。



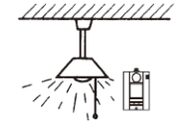
- ●食器棚等の近く　🚫禁止

６０ｃｍ以上離してください。



- ●照明器具の近く　🚫禁止

６０ｃｍ以上離してください。



- ●屋外　🚫禁止　屋外用ではありません。

３．取り付け方法

３－１．有効期限の記入

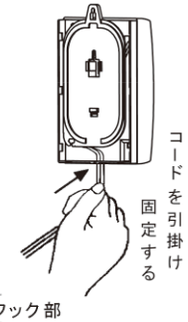
この警報器の有効期限は取り付け後５年間です。
必ず、警報器本体に貼ってある「有効期限ラベル」に、有効期限の年月を記入してください。

３－２．取り付け位置の確認

取り付け位置の壁面の材質、強度を確認し、土壁、強度の弱い合板などには取り付けないでください。
取り付け位置の壁面が石こうボードの場合は、取付フックを使用し取り付けてください。

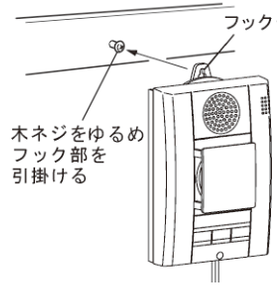
３－３．警報器の取り付け

・ 壁がコンクリートの場合は、カールプラグを打ち込んで木ネジを使用してください。
・ 電源コードをコンセントまでの長さに合わせて取り出し、本体裏側のコード掛けで固定してください。



■本体のフックで取り付ける場合

・ 木ネジ（長さ16㎜）を途中までねじ込み、仮止めしてください。
（既設のネジに取り付ける場合は、ネジをゆるめてください。）
・ 仮止めしたネジに警報器のフック部を引掛けてください。
・ 木ネジを締め付け、警報器を固定してください。



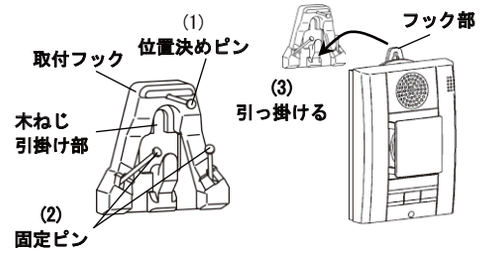
■取付フックに取り付ける場合

石こうボードに取り付ける場合、付属の取付フックを使用してください。

(1) 取付フックを壁面に押し当て、位置決めピンを垂直に打ち込んでください。

(2) 取付フックを垂直位置にした状態で、取付フックの固定ピン（左右２箇所）を斜めに打ち込んでください。

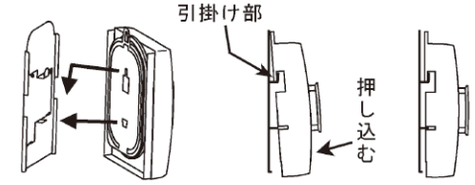
(3) 警報器本体のフック部を、取付フックに引っ掛けてください。



※取付フックの木ねじ引掛け部を使用して、16㎜の木ねじで止めることができます（石こうボードに取り付ける場合を除く）。その場合は、付属のピンを外してください。

■更新取付等従来の取付金具に取り付ける場合

取付金具の引掛け部に、本体裏面にある引掛け穴を使って掛け下げし、取付金具の下部にある固定凸部に警報器本体を押し付けて固定します。



⚠注意

- 警報器の取り付け時には、警報器を落とさないように注意してください。センサの断線等で正常に作動しない恐れがあります。
- ピンを指に刺さないように、取り扱いには充分注意してください。
- 取付強度を保持するため、ピンは根元まで確実に打ち込んでください。
- 万一ピンがゆるんだ場合は、取付位置をずらしてピンを打ち込み直してください。
- 警報器の電源コードを引っ張ったりして、取付部に過大な力が加わらないようにしてください。

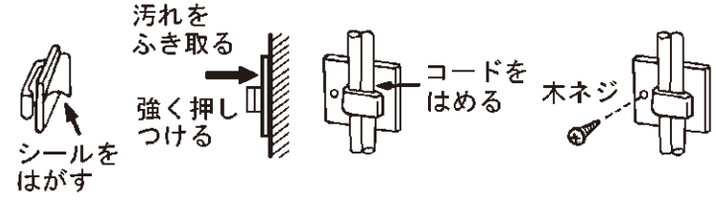
３－４．コード振れ止めの取り付け

⚠注意

- 電源コードは付属のコード振れ止めで支持してください。
- 電気設備技術基準および内線規定により、電源コードはステップルや釘などで固定できません。
- 電源コードの上に重いものを置かないでください。

① 壁面の取り付け部の汚れをふき取ってください。
② コード振れ止めの剥離シールをはがし、壁面に貼り付け強く押し付けてください。
③ 下図の通り、コードを振れ止めにはめて支持してください。

■ 接着だけで強度が不足する場合、付属の木ネジ(10㎜)を使用してください。



3－5．外部機器と接続する場合

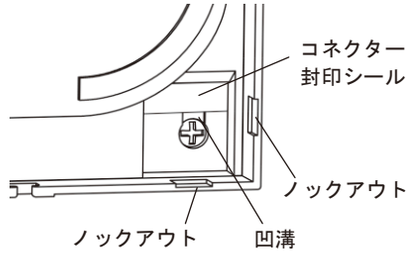
⚠注意

- 外部機器と接続する場合は、外部機器の取扱説明書ならびに設置工事説明書に基づいて作動点検を実施してください。
- ガス・COの外部出力（コネクター）は有電圧出力ですので、外部機器と接続する場合は極性に注意してください。

■外部機器との接続のしかた

- 外部機器と接続する場合
  コネクター封印シールを外してください。
  凹溝部分にマイナスドライバーなどを差し込んではがすと外しやすいです。
- 付属の接続用リード線を本体裏面のコネクターに差し込んでください。
- 必要に応じノックアウト部をニッパーなどを使用して切り取り、接続用リード線を引き出してください。

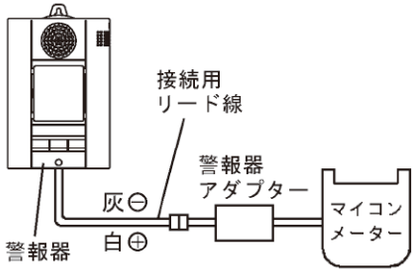
※ 集中監視盤または住宅情報盤と接続する場合、CO警報時でも集中監視盤または住宅情報盤はガス警報を発する場合があります。
※ コネクターを傷つけないよう注意してください。



接続用リード線
・ガスもれ、CO警報出力線：白・灰
・火災警報出力線：赤・灰

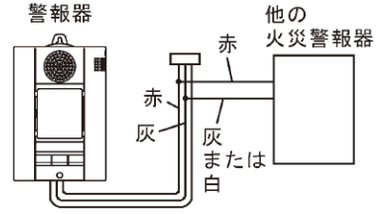
■マイコンメーターとの連動接続

警報器アダプターにコネクター接続してください。



■他の火災警報器との連動接続

他の警報器からの信号線とギボシ端子などで直接接続してください。



■外部機器との連動対応表

上段　○：連動可能
　　×：連動不可
　　△：警報器アダプターが必要

下段　警報音が鳴りはじめてから各機器が作動するまでの遅延時間の例です。
この遅延時間は、機器によって異なります。

外部装置 ＼ 警報の種類 / 外部出力信号 / 出力線	警報時の動作	火災	ガス	CO	備考
		連動出力	DC12V	DC18V	
		赤・灰線	白・灰線		
戸外ブザー	警報音が鳴ります	×	○	○	ガス・CO警報用
			約４５秒		
マイコンメーター	ガスを止めます	△	△	△	
			約４５秒		
住宅情報盤	警報表示および警報音が鳴ります	※１	○	○	
			約４５秒		
集中監視盤	警報表示および警報音が鳴ります	※１	○	○	
		※２	※２		
火災連動入力付警報器	警報表示および警報音が鳴ります	○	×	×	
		即時			

※１　接続する場合は、販売店または最寄りのガス会社にご相談ください。
※２　機器の設定により、遅延時間が異なります。

⚠注意

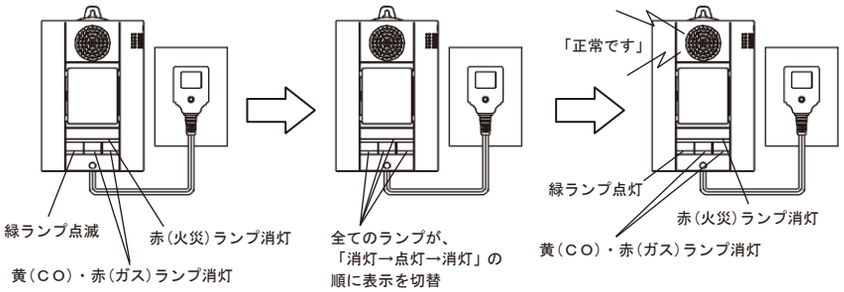
- 外部出力コネクターには極性がありますので、外部機器と接続する場合はご注意ください。
- 住宅情報盤および集中監視盤への接続は、各機器の取扱説明書と保証書に基づいて行ってください。
- 外部機器では、ガスとCOの警報判別はできません。
  ただし、一部の住宅情報盤で判別できるものがあります。
- 遅延時間は一般的な値です。詳しくは各機器の取扱説明書でご確認ください。
- 外部連動については、販売店または最寄りのガス会社にご相談ください。

４．取り付け後の点検（お客さま立ち会いのもとで実施）

この警報器は、通電開始後自動でセンサを含めた内部回路が正常であることを確認する自動初期点検機能を有しております。「自動初期点検機能の確認」を行ってください。
続けて「警報ランプと警報音、外部機器との連動の確認」も行ってください。
状況により「警報ランプと警報音、外部機器との連動の確認」ができない場合は、お客さまに取扱説明書で鳴動内容を説明してください。通常「作動点検」は不要ですが、お客さまから作動確認の要望があった場合は、「作動点検」を行ってください。

４－１．自動初期点検機能の確認

電源プラグをコンセントに差し込みます。
緑（電源）ランプが点滅し、約１分後に全てのランプが「消灯→点灯→消灯」の順に表示が切り替わります。このとき、警報器が正常であれば「正常です」と音声を発します。
万一異常があれば、「故障です、販売店に連絡してください。」と音声を発しますので、この場合は警報器の交換をお願いします。
自動初期点検が終わると、緑ランプは点灯に変わります。



※ 緑ランプが点滅している間は、作動点検は行わないでください。

４－２．警報ランプと警報音、外部機器との連動の確認

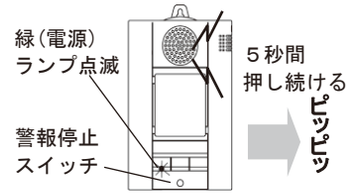
⚠警告

- 点検時、決してライターなどを使用しないでください。
  警報器の破損や火災の原因になります。
- 点検をするときは、必ず安定した台に乗って行ってください。
  転倒をしてけがをする恐れがあります。

⚠注意

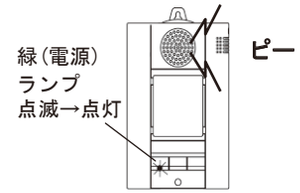
- 外部機器（マイコンメーター、集中監視盤、インターホン等）が作動しますので、連動確認機能を操作される場合はご注意ください。
- マイコンメーターが作動した場合は、所定の復帰作業を行ってください。その他の外部機器が作動した場合は、外部機器の復帰操作を確認していただき、復帰操作を行ってください。

① 警報停止スイッチを約５秒間押すと、「ピッピッ」と開始音が鳴ります。（緑（電源）ランプが点滅開始）
② 警報停止スイッチから手を離すと以下のように動作することを確認してください。



動作順	音声内容	ランプ 緑（電源）	ランプ 黄（CO警報）	ランプ 赤（ガス警報）	ランプ 赤（火災警報）	火災出力	有電圧出力（12V⇔18V）
1	「ウーウーピーピー　火事です火事です」	点滅			点灯	ON	ON
2	「ウーウーピーピー　火災警報器が作動しました確認してください」	点滅			点灯	ON	ON
3	「ウーウーピッピッピッピッ　ガスがもれていませんか」	点滅		点灯		ON	ON
4	「ウーウーピッポッピッポッ　空気が汚れて危険です　窓を開けて換気してください」	点滅	点灯			ON	ON
5	無音	点滅	点灯	点灯	点灯	ON	ON

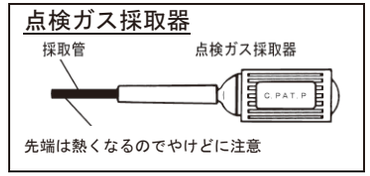
③ 約１分後に「ピー」と終了音が鳴り、
監視状態（緑（電源）ランプ点灯）に戻ります。
※ １分以内に連動確認を終了したい場合は、警報停止スイッチを押すと、「ピー」と鳴り、終了します。



４－３．作動点検の方法

〈準備するもの〉

- 点検ガス採取器（別売品）
- テーブルコンロなど炎からガスを採取できるもの



⚠注意

- アルコールを主成分とした点検ガスおよびライター式の点検ガス（生ガス）は、使用しないでください。
  センサの異常・故障の原因になったり、警報状態からの復帰に大変時間がかかったりすることがあります。

〈お願い〉

この警報器は作動点検をスムーズに行うため、通電初期の鳴動防止時間（１分間）経過後の３分間（電源プラグをコンセントに差し込んでから４分後まで）に限り、採取ガスに対して反応しやすい状態が保持されます。必ずその間に作動点検を行ってください。
上記時間を過ぎると、点検用の採取ガスに対して反応しやすい状態は解除されます。その場合は電源プラグを一度抜き、再度コンセントに差し込み直してから行ってください。
また、上記時間内であっても一度作動点検を行うと採取ガスに対して反応しやすい状態は解除されますので、ご注意ください。

■ガス・ＣＯ警報機能の作動点検方法

① 周囲に引火物の無いことを確認してからガスライターまたはガスコンロを点火し、炎の高さを以下の通り調整してください。
・ガスライターの場合：約４ｃｍ
・コンロの場合：約５ｃｍ
炎が小さいと、ガスを採取しにくくなります。

② 点検ガス採取器の容器部分を十分圧縮し、採取管の先端を外炎の中央部に持っていってください。

③ 容器の圧縮をゆっくり（３秒程度）ゆるめ、炎の中からガス成分を吸引してください。長時間加熱すると、ガス採取器が破損する場合がありますのでご注意ください。

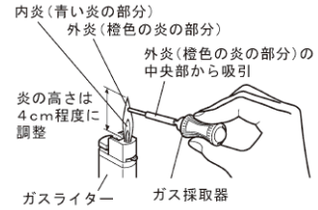
④ 採取が終わったら、速やかに採取管を炎から離し、ライターまたはコンロの火を消してください。

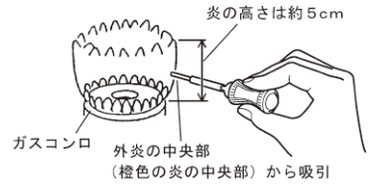
⑤ 採取管の先端部の温度が下がるまで（約３０秒程度）待ちます。
採取管の先端部分を警報器の点検口に軽く押し当てて、容器を圧縮し採取ガスをゆっくり（３秒程度）注入します。

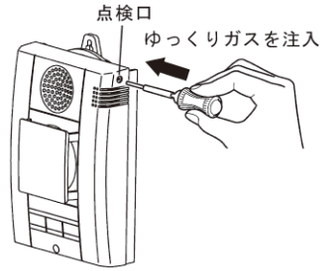
⑥ 警報器は、通電開始から１分後の自動初期点検機能を行い、その後の３分間は点検しやすい状態になっています。
この間に採取ガスを点検口に注入してください。

⑦ 赤ランプが点灯し、ガス警報音「ウーウーピッピッピッピッ　ガスがもれていませんか」が鳴り、黄ランプが点灯し、ＣＯ警報音「ウーウーピッポッピッポッ　空気が汚れて危険です　窓を開けて換気してください」が交互に鳴ります。
ガス注入のタイミングにより、ガス警報とＣＯ警報の順序が逆になる場合があります。

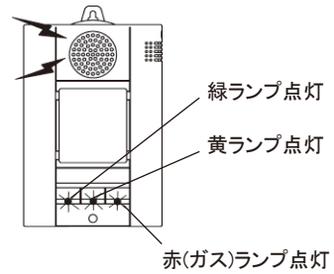
⑧ ガスがなくなると、黄と赤ランプが消灯します。







ウーウーピッピッピッピッ
ガスがもれていませんか
⇕ 交互に鳴る
ウーウーピッポッピッポッ
空気が汚れて危険です
窓を開けて換気してください



⚠警告

● 採取したガスは作動点検以外には使用しないでください。　⃠禁止

⚠注意

● 炎から取り出した直後のガス採取管の先端は非常に熱くなっていますので、絶対に触らないでください。　⃠禁止

● 外部機器（マイコンメーター、集中監視盤、インターホン等）が作動しますので、連動点検を行う場合はご注意ください。

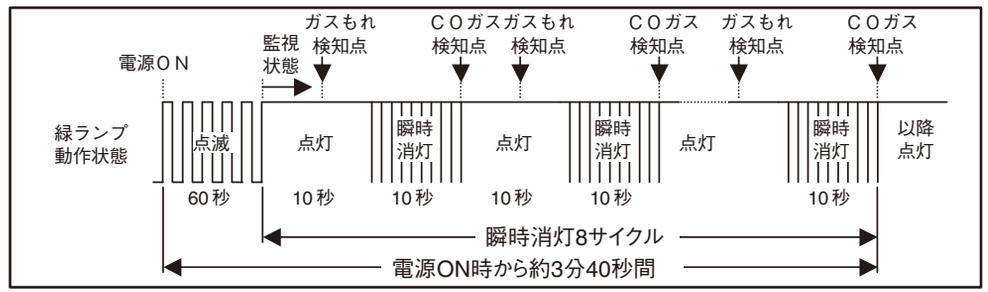
● マイコンメーターが作動した場合は、所定の復帰操作を行ってください。その他の外部機器が作動した場合は、外部機器の復帰操作を確認していただき、復帰操作を行ってください。

※ ガスセンサは、約２０秒周期でガス検知とＣＯの検知を繰り返しています。各ガス検知タイミングは一定周期毎になっておりますので、ガスの注入タイミングがずれたり、あるいは注入したガスが薄まったりすると、警報までいたらない場合があります。

※ 点検ガスの注入から警報を発するまでに、時間差があります。連続して採取ガスをかけ続けると、警報器がなかなか鳴りやまない場合があります。

＜ＣＯガス点検お知らせ機能＞

点検時の点検ガス注入タイミングを２０秒に１０回の瞬時消灯でお知らせします。



４－４．過去１０日以内に警報が作動したかどうかの点検（鳴動原因表示機能）

■過去１０日以内に警報動作をしている場合

通電前の過去１０日以内に、通電開始時２５分以降の警報履歴がある場合は、電源投入から１分経過後の「ランプ全消灯→全点灯」の後に、最後に作動した警報原因と同じ警報ランプが点灯します（他のランプは消灯）。

No.	警報器の状態			ランプ表示			
				緑（電源）	黄（ＣＯ）	赤（ガス）	赤（火災）
1	初期鳴動防止機能中（１分間）			点滅	消灯	消灯	消灯
2	自動初期点検機能の表示（各１秒、計２秒間）			消灯↓点灯	消灯↓点灯	消灯↓点灯	消灯↓点灯
3	警報履歴の表示（１秒間）	最後に作動した警報	なし	表示なし			
			火災警報	消灯	消灯	消灯	点灯
			ガス警報	消灯	消灯	点灯	消灯
			ＣＯ警報	消灯	点灯	消灯	消灯
4	自動初期点検機能の表示（１秒間）			消灯	消灯	消灯	消灯

５．お客さまへの説明について

お願い

● お客さま立会いのもとで点検が終わったら、必ずお客さまに以下の説明を行いご理解を得てください。　❗必ず行う

５－１．お客さまへのご説明内容

1．警報動作と自動初期点検結果および警報ランプと警報音、外部機器との連動の確認結果の説明。
2．取扱説明書を必ず読んでいただくことと、取扱説明書・保証書保管のお願い。
3．取扱説明書に基づく主要機能の説明と確認。
⑴火災警報の内容［赤ランプの点灯、音声合成音の確認］と警報時にとるべき措置の説明。
⑵ガス警報の内容［赤ランプ点灯、警報音声の確認］と警報時にとるべき措置の説明。
⑶ＣＯ警報の内容［黄ランプ点灯、警報音声の確認］と警報時にとるべき措置の説明。
⑷ガス・ＣＯの同時警報と警報時のとるべき措置の説明。
⑸部屋にいない場合に警報が鳴ったときのとるべき措置について。
⑹誤報が発生する場合について。
⑺警報停止スイッチの説明。
⑻日常点検方法の説明。

５－２．お客さまへの周知事項

1．警報器の有効期限（本体貼付のシールに表示）と保証期間。
2．警報器の移設禁止。移設依頼の連絡先。
3．警報器の分解禁止。
4．引越し時の措置。
5．故障・異常時の連絡先。

保 証 書

品名：ＫＮ－９５　　型式：ＪＧＮ１ＫＷＮＡ

このたびは住宅用火災（煙式）・ガス・ＣＯ警報器（家庭用）をお取り付けいただきありがとうございます。
この保証書は、都市ガス供給区域内において、ガス会社が供給する都市ガス用として警報器をご使用になる場合、本保証書の記載内容にて、無料点検または無料取り替えを約束するものです。

－ 記 －

1．　保証期間は、お取り付け日から５年間とし、警報器本体を対象とします。警報器本体以外に生じた損害は、本保証書に定められた保証の対象ではございません。
2．　保証期間中万一故障した場合は、本保証書をご提示の上お求めの販売店、または最寄りのガス会社にお申し出ください。
3．　取扱説明書に基づく正常な使用状態で誤作動等の異常が認められた場合は、お申し出に基づき無料にて出張の上、点検いたします。
4．　取扱説明書に基づく正常な使用状態で、製造上の責任による故障の場合は無料にて出張の上、取り替えいたします。
5．　保証期間内でも本書内＜保証の適用除外＞に記載してある事項の場合は、有料点検または有料取り替えとなります。
6．　無料取り替えなどアフターサービス等についてご不明の場合は、お求めの販売店、または最寄りのガス会社にお問い合わせください。

お取付日	年　　月　　日

ご使用者	ご芳名
	ご住所　〒　　－
	電話（　　）　　－